

インターネット技術とその応用論文特集の発行にあたって



インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

委員長 一井 信吾

インターネットは、様々な通信やサービスのあり方を根底から変えるだけでなく、生活や産業を大きく変化させる原動力として力強く発展してきた。しかし同時に、その発展のゆえに新たな問題に直面し、限界さえささやかれるに至っている。特に最近、社会基盤としての責務を果たすために必要とされる安定性・発展性・経済性についての課題や、社会制度や利用者の意識とのずれやひずみに起因する安全性・有用性についての課題がクローズアップされている。また、世界でも有数のブロードバンド大国となった日本においては、その基盤を豊かな社会生活や新しい産業の創出のために活用することがいっそう求められている。インターネットをますます発展させ、このような社会の要請に応えるために、インターネット技術とその応用に関する研究の進展をこれまで以上に加速強化する必要がある。今回、2004年発行の「インターネット技術と応用の最新動向」論文特集に引き続き、その後の新たなアイデアや取り組み、成果を集め、広く共有し議論すべく「インターネット技術とその応用」論文特集を企画した。

本特集への投稿は19編であり、厳正な査読の結果9編の論文を採録した。今やインターネットないしインターネット技術と無縁な情報システムはほとんど考えられなくなっている現状を反映し、採録された論文の分野はオーバーレイネットワーク、情報配信、ネットワークセキュリティ、コミュニティ形成支援、プロトコル、開発環境と特集タイトルのおおりに基礎技術から応用までの幅広いものとなった。招待論文はP2P技術を用いたスケーラブルな業務システムの開発と活用に関するもので、臨場感あふれる興味深い論文である。

本特集の主旨を理解し御投稿頂いた著者の方々、限られた時間の中で真摯に査読に取り組んで頂いた編集委員及び査読委員の方々に感謝したい。特に、幹事を務められた中村素典先生には多大な御尽力を頂いた。特に記してお礼申し上げる次第である。

一井 信吾 (正員) 1988東京大学大学院中退、理博。文部省高エネルギー物理学研究所(現高エネルギー加速器研究機構)助手、東京大学大型計算機センター助教授を経て現職。ネットワーク設計・構築・運用・応用にまつわる諸々のことに興味をもつ。情報処理学会、日本応用数学会、ACM、IEEE、SIAM等各会員。

インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

|     |                         |
|-----|-------------------------|
| 委員長 | 一井 信吾                   |
| 幹事  | 中村 素典                   |
| 委員  | 阿野 茂浩・石川 憲洋・石島 悌・石山 政浩  |
|     | 今泉 貴史・宇多 仁・衛藤 将史・下川 俊彦  |
|     | 樋地 正浩・峰野 博史・宮地 利雄・義久 智樹 |